



豊田中だより

令和7年10月10(金)

10月号

横浜市立豊田中学校

〒244-0815 横浜市戸塚区下倉田町950番地 ☎ 045-864-8640

トライ&エラー ～挑戦することを大切に～

校長 鈴木 秀彦

夏休み後の集会で、生徒たちに「失敗することも大事です。そしてまた挑戦してください。」と話をしました。子どもも大人も誰しも色々な夢を持っていると思います。そして、その実現のために努力することや継続することは、なかなか難しいと思ったこともあるのではないのでしょうか。

『夢を叶えるために挑戦する』ことについて、ちびまるこちゃんの作者、漫画家のさくらももこさんの言葉が掲載されている本を読みました。彼女の言葉の一部です。

「私は何もしていないことに気づきハッとした。私は高校の2年間というもの、何もしない青春を本当に送ってしまった。私は、小さい頃からずっと高校生になったら漫画を描いて投稿しようと思っていた。

なのに、高校に入った途端、一気に志を忘れてしまい、何もせずへらへらと毎日を過ごし、あっという間に2年間も過ぎてしまった。うっかりしていたら残り1年も何もしないまま過ごしてしまうところだった。気がついてよかった。私は漫画家になりたい。片思いの終わりとともに、自分自身への挑戦がやってきた。まずは明日、紙とペンを買いに文房具屋へ行くべきだろう。近所の文房具屋が、将来への第一歩だ!!」

この後、さくらさんは努力を重ね、漫画家になるのですが、彼女が高校3年生になって夢から行動を起こし、それを積み重ねて、漫画家になる運命を引き寄せるまでのプロセスは、『夢』を持った時点で、いつでも、だれでも、トライできるのではないのでしょうか。

また、こんな言葉もあります。「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」、これはイギリス元首相のマーガレット・サッチャー氏の言葉です。夢(考え)を明確(言葉)にして行動し、習慣化してそれが人格をつくり、運命を引き寄せると言っています。

豊田中の生徒の皆さんにとっても、令和7年度の半分が過ぎました。新しい環境で、新しい気持ちを持ってスタートしたと思います。どうでしょうか。これからでもまだまだいろいろ挑戦できます。自分の夢を見つけて夢を語り、それに向けて挑戦して、新しい自分を発見する。そんな半年にしてみたいと思っています。

トライ&エラー ～挑戦することを大切に～

<保護者・地域の皆様>

本校の教育活動へのご理解、ご協力に感謝しています。10月末実施予定の文化祭（合唱祭）へ、体育祭同様、生徒たちの輝く姿を見ていただければと思っています。詳しくはお知らせをご覧ください。

合唱コンクール 合唱順番（プログラムは後日配付いたします）

※開始時間は目安です。進行により時間がずれることがあります。



<1年生>

No	クラス	曲 目
1	1年4組	地球星歌～笑顔のために～
2	1年5組	With You Smile
3	1年1組	怪獣のバラード
4	1年3組	あさがお
5	1年2組	花は咲く

<2年生>

No	クラス	曲 目
6	2年4組	時の旅人
7	2年3組	輝くために
8	2年2組	生きている証
9	2年5組	ヒカリ
10	2年1組	大地のように

<3年生>

No	クラス	曲 目
11	3年2組	言葉にすれば
12	3年1組	～二十一世紀に生きる君たちへ～決意
13	3年3組	青い鳥
14	3年5組	虹
15	3年4組	地球の鼓動
16	3年6組	青葉の歌



<部活動>

No		曲 目
17	合唱部	A Whole New World I See the Light～輝く未来～ 生きる
18		吹奏楽部 演奏

〈地区懇談会について〉

地域 10 名 小学校関係者 43 名 小学校PTA20名 中学校教員30名 中学校PTA28名 計 131 名の方々に参加していただき、今年度は

「学校・家庭・地域での子どもたちの生活」

～中学生の SNS によるトラブルが絶えない今、学校家庭地域ができること～

というテーマで、各チーム4～5人のグループで、話し合いました。

<話し合い①>現状

- ・SNSトラブル:不適切な投稿や画像の拡散、トーク仲間外れ、悪口、課金問題など。
- ・LINEでの話し合いが学級に関わる決定事項に影響を与えてしまう。
- ・固定電話がない家庭が多い。
- ・子供が仲良くなると保護者も仲良くなれて心強かった。
- ・制限を厳しめにしていたが歯止めがきかない。知らない人と話しをしているかも(心配)
- ・Kids 携帯の生産が終わる→スマホへ移行増。
- ・子どもは写真の扱い方や課金について、ハードルが低い。(イメージ不足)
- ・LINEのやりとりで、提出物の期限が違ったことがある。
- ・スマホの使い過ぎで朝起きられない。ゲーム間でのトラブルもある。
- ・LINEグループに入っている人が勝手に退会させられた。
- ・子どもたち同士で面と向かって話をストレートに言うことが難しく。LINE上でやってしまう。
- ・LINEをやりたがることが多い。文字だけのコミュニケーションの難しさ。
- ・読み手がどう受け止めるかのイメージがないまま、思うままに文字にしてしまう。
- ・自分の意図しない相手に伝わってしまう。ニュアンスが難しい。日ごろの言葉遣いも重要。

<話し合い②>親子間

- ・親の所有物(貸与品)なので、内容を確認する必要がある。
- ・表面化しにくい問題なので、親が確認しやすい環境づくり。
- ・保護者に連絡するもので、スマホが必ずいるとは限らないことを声掛けが必要。
- ・親の決めたルールを守らなくなる。
- ・学校での管理は難しい。学校がどこまでやるべきか?保護者の管理が必要。
- ・家庭でのスマホのチェックをお願いしたい。
- ・動画やゲームは隠れてやらせない。
- ・保護者としては、居場所の確認に便利。
- ・スマホでずっと遊んでいて、言葉遣いが悪くなった。
- ・スマホを与えるタイミングでしっかりルール作りをする。
- ・親子でスマホの使い方をしっかり決めてほしい。
- ・家庭がしっかりするべき?子どもがどんなやりとりをしているのか親は把握した方が良い。

<話し合い③>所有の時期等

- ・小6→中1の段階がトラブル多い。
- ・小5・6でLINEグループができている。
- ・スマホ所有率が小学校から中学校にかけて増加する。

<話し合い④>学校等

- ・小学校から出前授業や講演会等で指導や支援を行っている。
- ・SOSを出せる環境作り。
- ・そもそも親との会話があるのか？トラブルがあったときに早期発見できる・相談できる関係性ができているのか？親だけで抱え込まずに学校などに相談できると良い。
- ・各小中学校では、道徳の授業などで話をしたり出前授業や講演会等を行ったりしている。
- ・SOSを出せる環境づくりが重要。すべてを抑制するのは難しい。
- ・学校間で情報交換等（研修会含）して、地域や保護者に発信してほしい。
- ・先生もついていけない。先生のなりすましがいた。
- ・各学校で出前授業や研修会を行っている。情報モラルなど。
- ・保護者も研修会を行いたい。PTAで企画してほしい。
- ・学校では、ネットの情報には間違いがあることも話してほしい。
- ・先生は保護者からトラブルを聞くことがある。トラブルが起きた時の対応の確認。

<話し合い⑤>その他

- ・日常生活に満足できれば SNS にも影響ないのでは？
- ・メタバースについて、いろいろな可能性が広がる。もっと抑制の効かない世界になるかも。
- ・不特定多数が見られるので、誰が見ても大丈夫な内容だけ載せる。
- ・地域でできることは、あまりないのではないか。
- ・小学校時代は、時間があるので、スマホやゲームに依存してしまい、体力が低下するのでは？
- ・中学校時代は、部活や塾などで時間がないので、比較的スマホなどを使用する時間が少ないのでは？
- ・スマホやゲームと運動不足の関連があると思うが、暑さや屋外の環境（公園など）に制限がある。
- ・学校の授業などで子ども同士でスマホについて話し合う機会があっても良い。
- ・スマホで部活の仲間と繋がっていることで、長期欠席を乗り越えて、登校できた。
- ・中学2年の夏以降は、徐々に淘汰されていく。
- ・スマホだけ、部活だけ、クラスだけではなくいろいろな所に拠り所をもてるというのでは。
- ・ランドセルにGPS機能付きが増えている。

まとめ

現状としてさまざまな問題はありますが、スマホ等を持たせるタイミングやトラブルが起きやすい年代についてもこの話し合いで共有できたことは、未然防止の観点から成果はあったのではないかと。また持たせる親としては、意図していない使い方をする場合もあり全部が管理できるわけでもないし、ルールも決め手が守らないケースもある。それはまさに成長期である小学校から中学校への人間関係の構築である重要な段階の一つであり、まさに学校・家庭・地域の連携の重要な内容の一つではないでしょうか。地域の方として直接生徒に対して何ができるかは、わからないという話もありましたが、この豊田中ブロックで抱えている課題や問題を知っていただくことが何よりです。さらにこの内容に対して、多くの大人で見守り、意識しバックアップ体制を敷いていくことも大切であると思います。横浜市だけではなく全国的に抱えている内容（SNSトラブル）でもあるので、身近な大切な地域をより多くの大人で子どもたちを支えていただくと助かります。また、話し合いの中で、PTAを中心とした保護者向けSNS研修会の実施や教職員の年間研修会をお便り等でご報告することも大切であると思いますので、是非検討させていただきます。お忙しい中、地区懇談会にご出席いただきありがとうございました。

<令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について>

調査結果の概要

令和7年4月17日に全国の国公私立の中学3年生(780,560人)を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。このうち、神奈川県内の中学3年生は59,447人でした。

国語・数学・理科の平均正答率は次の通りでした。

教科別調査結果(平均正答率%)							
	国語			数学			理科
	知識技能	思考判断表現力	合計	知識技能	思考判断表現	合計	合計
豊田中学校 平均	54.3	60.9	60	62.3	55.4	60	56.7
神奈川県 公立平均	49	55.5	55	56.2	42.6	51	50
全国公立 平均	48.1	55.3	54.3	54.4	39.1	48.3	48.3
豊田中と 全国の差	+6.2	+5.6	+5.7	+7.9	+16.3	+11.7	+8.4

◎各教科の調査結果から見る本校の状況

国語と理科に関しては全国・神奈川県ともに平均的な正規分布となっており、豊田中はそれに近くやや高得点者が多くあります。数学に関しては全国・神奈川県ともにいわゆる「ふたこぶ駱駝」という高得点者と低得点者の二極分布になっており、豊田中は更に高得点者が多い反面15問中2問正解の低得点者が多く、これからの課題となります。

◎生徒質問紙調査をふまえた分析

本校の調査結果で高い割合を出した項目が「学校に行くのは楽しいと思いますか」であり、「楽しい」とどちらかというと楽しい」を合わせると88.2%となり、昨年度の83.8%をしのぐ結果となっています。更に、「楽しい」と答えた生徒が55.9%であり、全国平均の45.6%を10%ほど上回っています。しかし、そう思わないと答えた生徒がいることも事実であり、今後とも生徒の表情や心の変化を常に気にかけて見守っていきたいと思います。また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」の問いには「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」と答えた生徒が93%と高く、さらに「当てはまる」の割合は全国平均より10%ほど高くなっています。これは普段からの豊田中の生徒の行動や言動からもうなずける結果となっています。その他、学習塾や家庭教師に教わっているの割合も豊田中78.5%であり、県68.1%全国52%に比べ多く、学習時間も全国平均に対して多い傾向があります。また、授業におけるICT機器の活用と効果については今後検証を進めたいと考えております。

<生徒活動の記録>

◎陸上競技部

県総体 共通女子 4×100mリレー 第5位

新人戦 女子共通 800m 優勝

◎バドミントン部

秋季戸塚区団体戦 女子 準優勝 市大会出場

◎卓球部

秋季戸塚区新人戦 2年女子 第3位 第5位

2年男子 第5位

1年女子 第4位

1年男子 第6位

シングルス 6名 市大会出場

◎女子ソフトテニス部

戸塚泉中地区大会 団体 優勝 市大会出場

個人 3ペア 市大会出場

横浜市大会 団体 3位 県大会出場

個人 1ペア 県大会出場